

明石のまちづくり

第2号
2017年12月

一発行一

明石市連合まちづくり協議会
編集：広報部
連絡先：明石市コミュニティ推進課
TEL (078)918-5004

AKASHI NO MACHIDUKURI

明石市連合まちづくり協議会のスローガン

まちづくり ゆめづくり

校区まちづくり組織

江井島校区の取り組み

明石市内の各小学校校区では、それぞれの地域の実情に合わせてまちづくりを進めています。広報紙「明石のまちづくり」では、連合まちづくり協議会の広報部が取材した先進的な活動を紹介しています。

江井島まちづくり協議会は、6つの部会体制で活動しています。スクールサポートという小学校内の防犯パトロールや、子ども夢文庫・ふれあい喫茶・うたごえ江井島喫茶といった多世代交流の場の展開、福祉の見守り活動など、さまざまな活動を行っています。月1回の歌声喫茶は毎回30人が参加するにぎやかな場になっているそう。

部会活動が活発な理由

このような多種多様な活動は、どのように実施されているのでしょうか。

「部会の活動は手挙げ方式。動員や充て職はしないようにしている。自分で手を挙げて参加



▲大西会長(右)と橋副会長(左)

江井島まちづくり協議会が特に力を入れているのが、広報紙

広報は地域住民との大切なコミュニケーションツール

すると、達成感がともない、次の活動につながる」と熱く語るのは会長の大西さん。江井島まちづくり協議会では、イベントや行事のときに、色んな世代が関われる接点を持てるように工夫しているそうです。「活動も会議も楽しくなるように工夫している。例えば、会議は全員が顔が見えるように円卓でやっている。」と自身も楽しそうに話されているのがとても印象的でした。



▲たくさんの方が集まった江井島夏まつり

「この夏、これからの要となるのがやはり事務局の存在のようです。」「こんなことできたらいいな」「やってみたい」など、皆さんのアイデアや夢を、実現するためのサポートが事務局の重要な役割。この夏のラジオ体操も、行灯の復活も「やれるといいな」といった住民の声を「やれば!」と後押しすることで実現したそうです。平成29年度からはコミセンの管理運営も受託し、より事務局がパワーアップしたそうです。



▲広報紙ワンドフル江井島

「ワンドフル江井島フルカラーのA3サイズで年6回、これまでに27号を発行しています。広報紙の中でも一番人気は、地域で色んな団体が実施するイベント情報等を記載した「行事予定」コーナー。2ヶ月に1回の発行なので、細かく行事予定を知ることが出来ます。特にこのもを持つお父さん、お母さん達にはとても喜ばれるそうです。広報紙を発行し始めたことで、掲示板をまわすのが早くなったという予想外の嬉しい効果もあったようです。この広報紙作成にも、携帯電話でメッセージや写真を送ってもらうなど、気軽に参加してもらえらる工夫をしているとのこと。その気軽さが継続の秘訣だそうです。



▲江井島まちづくり協議会役員のみなさん

まちづくり計画書は活動の指針

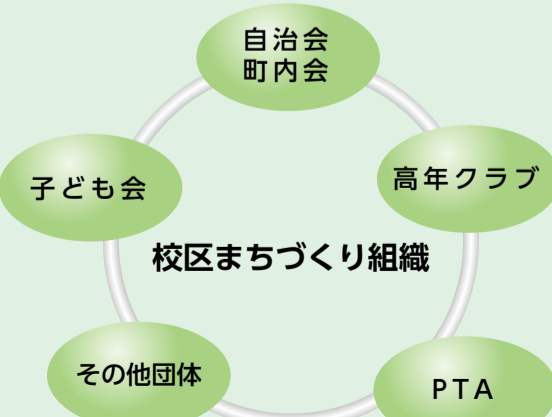
このように活発な江井島まちづくり協議会ですが、ここまで道のりの鍵になったのは、平成27年度に策定したまちづくり計画書だったと副会長の橋さんは熱く語ってくださいました。

当初は、まちづくり計画書がなぜ必要なのかと迷っていたそうですが、作成し部会活動が動き出してみると、まちづくり計画書が各部会のマニュアル(指針)になっているそうです。そして、計画書に記載した事業を着実に実行していくことで、自信にもつながっているそうです。

江井島まちづくり協議会は、今年度、まちづくり計画書の見直しの時期にかかっています。常にスピード感を持って物事を進められる先進校区の江井島校区が、どのように計画書を見直し、これからさらにパワーアップしていくのか、楽しみです。

校区まちづくり組織とは

校区まちづくり組織は、小学校区内の自治会・町内会、子ども会や高年クラブ、PTAなどの各種団体が連携しまちづくりを行う組織です。校区の特色を活かしながら、住民が主体になって、まちづくりを進めています。



明石市内28の校区まちづくり組織

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 松が丘 松が丘校区まちづくり協議会 | 山手 山手校区まちづくり協議会 |
| 朝霧 朝霧校区まちづくり協議会 | 大久保 大久保小学校区連自治協議会 |
| 人丸 人丸まちづくり推進会 | 大久保南 大久保南小学校区連自治協議会 |
| 中崎 中崎まちづくりの会 | 谷八木 谷八木校区まちづくり協議会 |
| 明石 明石校区自治協議会 | 江井島 江井島まちづくり協議会 |
| 大親 まちづくり大親地区協議会 | 高丘東 高丘各種団体協議会 |
| 王子 王子まちづくり協議会 | 高丘西 高丘西校区コミュニティ推進協議会 |
| 林 林校区コミュニティ推進協議会 | 魚住 魚住まちづくり協議会 |
| 貴崎 貴崎校区まちづくり協議会 | 錦が丘 錦が丘校区まちづくり協議会 |
| 花園 花園校区まちづくり協議会 | 錦浦 錦浦校区まちづくり協議会 |
| 藤江 藤江校区コミュニティ推進協議会 | 清水 清水まちづくり協議会 |
| 和坂 和坂校区まちづくり協議会 | 二見 二見校区まちづくり協議会 |
| 鳥羽 鳥羽まちづくり協議会 | 二見北 二見北まちづくり協議会 |
| 沢池 沢池校区まちづくり協議会 | 二見西 二見西コミュニティ推進協議会 |

自治会部会より



▲小グループに分かれての意見交換会

自治会・町内会

新会長研修会

明石市と明石市連合まちづくり協議会の共催により、平成29年6月3日(土)に市立勤労福祉会館で自治会・町内会の新会長を対象とした研修会を開催しました。この研修会は、市内475の自治会・町内会のうち、その半数の会長が毎年交代していることから、新会長の不安感を軽減するため毎年開催しており、今回の対象者248名のうち、出席者は118名でした。

当日は例年の講義に加えて、初めて意見交換会を実施しました。18グループに分かれ、各校区会長(連合まちづくり協議会理事)が進行役となり、「ごみ問題」「自治会加入促進」等をテーマに話し合いました。参加者からは、「会長として幅広い知識が得られた」「アドバイスをもらい悩みが解消した」など満足度の高い感想が寄せられました。今回の研修会をふまえて、来年度の内容等について検討を進めます。

意見交換

特に意見の多かった「ごみ問題」と「自治会加入促進」について特徴的な意見をまとめてみました。

1. 「ごみ問題」

「ごみの分別のマナーが悪く困っています。どうしたら良いですか？」

自治会で市の出前講座を活用し、「ごみの出し方や分別方法を学ぶ機会を設けています。」

自治会独自で意識啓発のチラシを作成して回覧しています。さらに、自治会オリジナルの収集日の啓発看板を作っています。



▲自治会独自のチラシ

「ごみステーションの管理や一斉清掃になかなか参加してもらえません。」

高年クラブにごみステーションの清掃を依頼しています。清掃活動と同時に、ふれあい喫茶を開いているので、とても賑わっています。

「同じするのなら楽しく」をモットーにしています。清掃後、食べ物や飲み物を用意して懇親会を開催しています。

子ども会の集団回収に合わせて開催しています。

自治会でボランティアを募集しています。メンバーが空いている日や時間でゆるやかに実施しています。

2. 自治会加入促進

高齢化により役員を引き受けていただける人がいません。どうすればいいですか。

自治会をみんなで作っていくという雰囲気大切です。若者と高齢者の交流の機会を作ったり、「高齢だからこそ自治会に入り、ご近所のつながりを作りましょう」と声かけをしたりしています。

自治会加入のお願いをしますが、強制はできません。

自治会独自の「入会の手引」を作った新規入居者に手渡し、自治会は「どのような活動をしているか」や「加入すればこんなメリットがあるんですよ」ということを役員誰もが適切に説明できるようにしています。



▲自治会等の活動や運営についての全体講義

手作りのチラシを配布したら、効果がありました。

活動写真や地図、規約、ごみ分別方法などを記載した資料を作って手渡ししています。住民がほしいと思う情報を渡すと良いです。

会費を集める時や入居の機会を捉えて勧誘しています。

住宅会社(販売業者)に対して、あらかじめ自治会の説明を行うなど、新規入居者の入会促進を図っています。

自治会ごとに色んな工夫をしているんだね!



広報部会より

あかしの地域をよく知る web

まちナビAKASHI

これまで運用されてきた AwardPress 明石に代わり、平成 29 年 4 月にオープンした地域コミュニティサイトです。「校区まちづくり組織」の情報と、市内で活動する市民活動団体・ボランティア団体・サークル団体の情報が掲載された総合情報サイトになっています。小学校区ごとにページがあり、その地域での活動が一目瞭然です。各校区のページから情報を閲覧し、自治会・町内会の運営や活動に役立ててください。



イベント情報

地域の情報

行事スケジュール

団体情報

まちナビ AKASHI のホームページのアドレスは <http://www.a-machi.jp/> です。「まちナビ AKASHI」または「まちナビ明石」で検索してください。

編集後記

明石市連合まちづくり協議会広報部会メンバーより

- 今回の広報紙は、誰もが興味を持ってもらえるように紙面を考えました。(吉川)
- 江井島まちづくり協議会の取材では、会長、副会長、事務局長の3人の方のベクトルがあっあっていて、その力強さにとても刺激を受けました。(松尾)
- 自治会・町内会新会長研修会で出た悩みについて取り上げたことで、会長の皆さんの参考になればと思っています。(安藤)
- 毎年実施する自治会・町内会新会長研修会には、ぜひ参加していただければと思っています。(小林)
- 「私でも参加できる」やさしい明石のまちづくりをこれからも提案していきます。(高月)